

鼓童

2018

Autumn

vol. 372

KODŌ

| 特集 |

新たなEC～変革の意味とこれから

歌舞伎座百三十年
秀山祭九月大歌舞伎
【夜の部】新作歌舞伎「幽玄」

(2018年9月 写真:岡本隆史)

新たなECCの変革の意味とこれから

「鼓童のアース・セレブレーションから、佐渡のアース・セレブレーションへ」
城山会場の移転と、小木から佐渡全体をビジョンにして動き出し、3年が経つECC。
鼓童と佐渡市が二人三脚で行ってきたこの変革にこめられた思い、展望とは。

◎構成・編集：坂本実紀（ライター）、編集部 ◎写真：岡本隆史、押川毅、坂口正光、みしまひろゆき、宮川舞子

アース・セレブレーション（以下ECC）は30年の節目を迎え、新たな流れを作ろうとしている。鼓童が本拠地となる佐渡に、公演で出会った国内外のアーティストを招き行うこの国際芸術祭は、島外から多くの観光客呼び込んできた。最初は戸惑いからはじまった小木の人々と外国人との交流も、国際交流基金の地球市民賞をいただくまでに定着。ECCは佐渡にとっても経済効果を期待されるイベントに成長してきた。

ECCにはなぜ変化が必要なのか

ECCを始めた頃、小木の宿泊施設は一晚で千人泊程の収容能力があった。今は二百人泊程に減少し、佐渡全体でも廃業になる施設が増えている。人を島に呼ぶイベントに対して、宿やもてなす人が減っている状況だ。ECCを続けていくためにも、佐渡全体の問題に取り組みには、行政として佐渡の人々との連携が必要だった。

変革にあたり、鼓童の方から「ECCを全島に広げて、佐渡そのものをPRしていく取り組みに発展させたい」というプランを行政に提示し賛同を得た。最初は不安だったと、佐渡市観光振興課、課長の祝雅之さんは言う。

「城山コンサートはECCのシンボリックなもの。それを変えろ」という話には驚きました。でも確かに、搬入搬出も困難な丘の上の城山コンサートを続けていくのは天候や金銭面でも大きな

リスクが伴う。ただ、移転するにしても、佐渡は山が多く、土地も狭いので、今までに近い演出がなかなかできない。新たな魅力を作っていくか、と集客が望めないという懸念もありました」

そんな思いを抱きながら、会場移転の計画は動き出す。2015年の城山コンサートを最後に、一度縮小し、2016年にはメインイベントを鼓童村コンサートに行なった。その後2017年に今の小木みなと公園（ハーバーマーケット）へ移動し、2018年も前年と同じ形で行われた。

取り組んだのはコンサート会場の変革だけではない。小木に核を持ちつつECCを佐渡全体に広げる構想を形にしていくなめにお願ひしたのが、佐渡出身で、東京でデザインコンサルティングをしている株式会社CC代表の戸田宏一郎さんだ。

鼓童と佐渡市のこれからを形にする作業

鼓童は、「ECCがもっと人と人、人との出会って、新しい価値観やカルチャーを生む」にはどうすべきか、そして、市町



1988年の第1回目以来、約30年ぶりに開催された鼓童村でのコンサート（EC2016）



城山コンサート荒天時やフリンジ会場として利用してきた小木体育館も老朽化のため現在使用できない（写真はEC1994の様子）

2017年より開催しているハーバーマーケットライブ会場的小木みなと公園





2017年、(株)電通より独立、CC INC. 設立。サントリー金麦のアートディレクションなどを担当されている戸田さんは佐渡市出身。

EARTH CELEBRATION



EC2016より打ち出したテーマ「たいこのこども」(たいこの前では、みんなこども。)

村合併で佐渡市となった行政との足並みをそろえるにはどうしたらいいか悩んでいた。そんな話を聞いた戸田さんは「鼓童さんらしいと思った」と語る。

「ただ楽しい音楽を奏でればいいじゃない、そこに人との対話があったり、新しい街づくりをしていくものになりたいっていうのを真剣に考えられていました。そこで、『新しいステージに向かって、一度休んで、かがんで、ジャンプするようなことのお手伝いをしてほしい』というお話をいただいたんです」

ちょうど、戸田さんがローカルな地方の仕事に色々興味を持っていた時期だった。鼓童をベースに、佐渡全体のモチベーションづくりに関与できればと、その変革に力を貸してくれることになる。

「たいこのこども」に込められた意味と願い

まず戸田さんが打ち出したのは、たいこのこどものロゴ、そして「&佐渡」場となるEC「新たなクリエイティブコミュニティへ」という方向性だった。

「たいこのこども」は鼓童のことを考えて作

りました。ロゴと、みんなのものになるように「たいこのこども」という機能する言葉をセットしてあります」

こうして新しいロゴと言葉を得たECは、小木地区でのイベントをコンパクトにする一方、2016年には「むつさんこ佐渡祭り」や「北沢浮遊選鉱場ライブ」、「スノーピークと楽しむEC」、「さどの島銀河芸術祭」など島内各地のイベントと繋がったり新しい企画が生まれたりした。では、現場の声や実感はどうだったのか。佐渡市観光振興課でECを担当する川上高広さんに聞いた。

「芸術祭では、佐渡をPRしたいと、自信を持って取り組んでくれるボランティアの人たちが増えてきました。そんな賛同者がいるのと同時に、芸術というものは伝わりづらく、批判の声もある。そういう声を変えるためにどう運営し、来てくれる人を増やして成果を見せていくかも課題です」

また、イベントが増えることに人材確保の難しさも感じる。少子高齢化ゆえにスピード感を持って取り組まなければいけないという危機感が現場に漂う。そんな中で

大事なものは、地域を超えた関りや助け合いの意識を育てることだ。

「佐渡つてもともと文化度が異常に高いんです。能や鬼太鼓、民謡を歌ったり、陶芸だったり、色んな手仕事をやっている人たちがいる。そういう人たちがみんな繋がること、一つの佐渡になるとすごい島になるんだろって思います」

川上さんは前向きに語る。ECをハブとしたつながりが「佐渡を盛り上げたい」という島民の意識を育てるカギになるよう、行政も期待している。

2018年、新たな展開として「響く島。SADO」を提唱

変革を進める中で浮き彫りになってきたのが、地域意識の高さだ。鼓童と行政で様々なイベントを一つにするよう努力しても、島民にそれが浸透するには時間がかかる。2018年に打ち出した、「響く島。SADO」は、一つのプラットフォームをつくるための仕掛けだ。

「響く島。SADO」は、佐渡島民のものになるべきだと戸田さんは言った。

「佐渡のみんながそれぞれに響くぞ、響かせるぞ、と思ってる。僕は、種をまくけど、みんなが『響く島。SADO』を自分ごとにして、自分たちの持ち分、持ち場所、関わっていくことで誰かの心に響いていけば、こんなに嬉しいことはないです」米づくりも、食卓の笑顔や、「この米うまいね」というやりとりをとおして互いに響いていく。文化や芸術、医療や商いも、

2016年には国指定史跡「佐渡金銀山遺産北沢浮遊選鉱場跡」でライブも開催した



町の祭りや、島民と観光客が楽しむための新しいイベントも、佐渡の人が誇りをもつて行う仕事や生み出すものは、人の心に響く。

ただ、島民の豊かな営みも、そしてECも、島外からの資本や興味を集めることができないと続けられない。「響く島。SADO」を合言葉に佐渡を世界中に響かせることがECの役目でもあると戸田さんは考える。

「ECを鼓童のものから佐渡のものにすることで、鼓童の音やネームバリューを通じて『響く島。SADO』を世の中に発信していくプラットフォームができる。鼓童には太鼓という音を使って人々の心を揺さぶれる力がある。そこに僕らものつかりたい」

今後は、新潟や十日町と展開して、日本海側にいけば芸術祭が色々みられることを国内外の人にも知ってもらいたい。それが佐渡にくるきっかけになるかもしれない。

「ECをきっかけに佐渡の連泊数や、地域内の滞在時間を増やすためにも、島民が佐渡ならではの魅力を理解し、PRしていくことが大切です。そのために、佐渡



2017年より佐渡総合高校の生徒さんが校内の模擬株式会社をハーバーマーケットで出店している。

のあらゆる場所が自分の地域の象徴や、大切な場所になるしかけを行政としても増やしていきたい」

行政がECとして取り組んできたことの手ごたえも少しづつ感じると祝さんは笑う。難しさを感じる一方で、行政、鼓童。そして佐渡島民のビジョンは少しずつ形になってきた。

今後鼓童がECで大事にしていくもの

「響く島。SADO」を合言葉に、佐渡の人々が響き合う取り組みへと変化していくであろうEC。もちろん、鼓童のメンバーもつと響かせられるよう進化していく。

普段様々なところで公演をしている鼓童メンバーたちと、名誉団員含めて一丸となった舞台が見られるのはECの大きな魅力となっている。それに加えて、お祭りだからこそ、若手メンバーの「やりたい企画」が叶うのもECの特徴だ。2017年の若手の挑戦は、今年夏の鼓童若手連中のフランス太陽劇団公演につながった。この祭典がメンバーにとってもステップアップするきっかけになっている。

ECと佐渡のこれから

佐渡は、高校を卒業すると約八割の人が島外にでてしまう。鼓童が戸田さんにつくってもらった、たいこのごじもの企画書には「佐渡の未来、日本の未来を担う『みらいの大人』ごじもの」のために『今の大人

人』ができることへ」という言葉があった。

「この変革の中で、若い子たちが面白がって関わったり、佐渡に帰ってくるきっかけになったりするのを応援したい。一時代を作り上げた人たちは、応援やバックアップをしていくべきだと思う。そのために、若い人たちが佐渡で豊かに暮らせるような場所や環境を作ることが必要」と戸田さんは言う。

2010年から募集を開始した佐渡の高校生ボランティアは合計428人に及ぶ。2017年からはハーバーマーケットに佐渡総合高校の生徒が自分たちでブースを出してくれるようになった。それ以外にも、U・イーターナー者に向けたチャレンジ枠の出店ブースも用意している。ECをきっかけに、佐渡でなにかできるかもしれないと思う人が増えて帰ってきてくれるきっかけになるとつれい。

ECはこれからも、鼓童のメンバーの色々な表現や挑戦、佐渡との響き合いをとおして世界中の人たちを楽しませてもらえるだろう。

その意味において「響く島。SADO」は、鼓童と佐渡が響き合い、相乗効果を生むための道しるべとなる。

「響く島。SADO」のぼりが掲げられる岩首昇竜棚田は今年、「さどの島 銀河芸術祭」の会場ともなった。



住吉 佑太 すみよし ゆうた

- Q1. 10歳のときに鼓童の交流公演を観て、「太鼓を職業にしている人たち」がいることにまず驚き、同時に自分もなりたい!と思ったのがきっかけです。
- Q2. 太極拳。
- Q3. せっかち。
- Q4. 初の演出作品! 僕のすべてを詰め込んでお届けしております!
- Q5. 鼓童を離れていく人もたくさんいますが、僕は絶対辞めません!(笑) 今後とも、よろしく願い致します。

石塚 充 いしづか みつる

- Q1. 中学3年生の時に、友人家族に連れてきてもらったアース・セレブレーションに衝撃を受けて。自分もあの音と光と笑顔の渦の中に混ざりたいと、15歳の青少年は思ったのです。
- Q2. コーヒーを飲み過ぎないように。
- Q3. せっかちですがのんびり屋。
- Q4. たぶんこれまでで一番、みんなと音を出すことがシンプルに心地良いと感じています。気持ちの良い音、心地良い風景を、皆様にも感じていただけたら幸いです。
- Q5. 若いメンバーが頼もしく育ってきています。末永く鼓童をよろしく願い致します。

今月の 鼓童メンバー

毎回、鼓童メンバーの素顔をご紹介しますこのコーナー。今回はいよいよツアーが始まりました新作「巡-MEGURU-」より、演出の住吉含む中心メンバーが登場です。

- Q1. 鼓童に入ったきっかけは?
- Q2. 最近ハマっていること、マイブームを教えてください。
- Q3. 自分の性格を一言であらわすと?
- Q4. 「巡-MEGURU-」に向けて意気込み、見どころを教えてください。
- Q5. 読者の皆様に向けて一言お願いします。



小松崎 正吾 こまつざき しょうご

- Q1. ECを見て、言葉を越えた世界でキラキラと光っているメンバーと音を聞いて、非常に強いジェラシーを抱いた思い出がずっと焼き付いていて、決めました。
- Q2. 朝のコーヒー。気ままに踊る。
- Q3. ムルムルガヤガヤしてる。
- Q4. 音から見えてくる身体、身体から聞こえてくる音。先輩方からのバトンをしっかり受け取って、今の鼓童の音をお届けできるように頑張ります。
- Q5. いつも応援して頂きありがとうございます。百聞は一見にしかずかと思えます。沢山の想いを【巡】の舞台に詰め込んで、劇場でお待ちしております。

中込 健太 なかごめ けんた

- Q1. 中学生のころ『佐渡の鼓童』という写真集をよんで、何もやる気が起きなかった人びとがなんか叩くという気持ちに駆られていくところに自分をかきねた。おんなじだなと思った。
- Q2. 地方の街を散策する。その街のラーメンを食べる。
- Q3. 雑な性格。
- Q4. 秋の小編成公演で、はじめて、面と向き合っ、れお(北林)、こうだい(吉田)、いっせい(小平)という世代と一緒に音を出してみても笑いが止まらない感じになった。楽しかった。そのノリで、やりたい。
- Q5. 皆様の住む街の美味しいラーメン屋さん情報をお待ちしております!

巡-MEGURU-国内ツアー

鼓童の新たな挑戦作「巡-MEGURU-」ツアーがいよいよ始まりました! お近くの劇場でその瞬間をどうぞお見逃しなく!

11/13岡山県倉敷市、11/15鳥取県鳥取市、11/17山口県岩国市、11/21-22大阪府大阪市、11/23-24滋賀県大津市、11/27愛知県刈谷市、11/28岐阜県多治見市、11/30新潟県新潟市、12/1長野県長野市、12/7千葉県船橋市、12/8神奈川県茅ヶ崎市、12/9埼玉県熊谷市、12/11神奈川県横浜市、12/13埼玉県富士見市、12/15東京都調布市、12/16東京都福生市、12/19-23東京都文京区





「巡-MEGURU-」にて初披露となる中込健太作曲の挑戦曲。

代表曲「三宅」のアレンジに込めたその思いとは。

文:伊達なつめ(演劇ジャーナリスト) 写真:岡本隆史



2018年11月に初演を迎える『巡-MEGURU-』で前半の最後を飾るこの大曲は、鼓童のレパートリーの中でも屈指の人気曲『三宅』の新たなバリエーションだ。1982年初演の『三宅』は、三宅島の祭礼で行われる、御輿の先導として低い体勢で横から叩く勇壮な太鼓を、鼓童流にアレンジしたものだ。演奏すれば必ず客席が盛り上がる鼓童の代表演目の筆頭だ。演出の住吉佑太は、

「大切にしてきた演目で、『三宅』が叩きたくて鼓童に入ってくるメンバーもいるけどなんですが、最初につくった時の熱量みたいなものは失われている気がしていたんです。僕たちの世代は、初演時の生みの苦しみを知りません。このままではただの『コピー』になって、本来受け継ぐべき重要な部分が灰になってしまっている。なので、なんとか当初のスピリットや長い年月をかけて培ってきた技術を活かして、もう一度火を点け、新しく甦らせたいと思ったんです」

そこで、初心に返るべく、現地で行われている三宅太鼓の打ち方を改めて取り入れることを提案し、中込健太に具体的なアレンジを託した。中込は、

「ぶつっは曲をつくってから打ち方を考えますが、今回は、三宅の地元の方たちが打っているフォームを取り入れることがまず条件となりました。あの足をグツと開いた低い姿勢は、元々、神輿を漕しながら先導する太鼓を、棒で担いで巡行し、叩く時は台の無い地べたに直接置いたことから、あのような独特の形になったそうです。」

そして御輿の迫力に負けまいと見映えもよく、力強い打法を競うようになった。ですから今回は、あの横打ちの身体づかいの美しさが映えるフレーズをまず考えて、曲を組み立てていきました」

初期の『三宅』のスタイルを知る中込には、鉄板演目の忠実な継承を期待する声も大きい。が、

「それはよく言われるんですが、僕はあまのじゃくなので、そのまま継承しなければいけない、とは思わないんです。あくまでも、自分が経験してきたことや、いま思っていることを、トラディショナルなものにぶつけることに興味があるので、けつこう自由につくらせてもらいました」

中込がフレーズや構成のアイデアを書き込んだ手書きのメモはA48枚に及び、「その筆圧で音のボリュームがわかるくらい(笑)」(住吉)気魄に満ちた内容だったそう。

『祭宴』における『三宅』は、まったく個性の異なる打ち手3人によるソロが中心となる。重厚で美しく完成度の高い中込、陽性で躍動感に溢れ、いま進境著しい三浦康暉、そして、しなやかかつパワフルで、絶対的な安定感を持つ米山水木。三者三様の見比べ、聴き比べが、『三宅』の魅力を増幅させている。

なお、子どものころから『三宅太鼓』に親しんでいたという米山は、鼓童の



大舞台では初の女性の『三宅』奏者となる。これまで、女性の打ち手には「女性らしさ」を求められがちだった鼓童において、性別に関係なく実力で打ち手が選ばれることになったのも、新しい時代の自然な流れといえるだろう。



この秋、鼓童の太鼓との向き合い方や心構えを学ぶ2つの新しいタイプの合宿が行われた。この合宿は鼓童結成時からの礎となっている「くらす・まなぶ・つくる」を基盤とする研修所の生活をベースにしたものだ。

Roots of Kodo

佐渡に秋を感じはじめる9月10日～18日、「Roots of Kodo」はヨーロッパを中心とした6人の現地在住の外国人を迎えて行った。頭文字をとって“RoK”(ロック)と呼ばれるこの合宿の発起人は、鼓童の内田依利。きっかけは2017年に齊藤栄一と行ったヨーロッパワークショップツアーだった。海外では自分の太鼓の表現について行き詰まりを感じている人たちがいる。彼らが学びたいのは、演目や型だけでなく、太鼓との向き合い方や創造の基だと知った内田は「鼓童の研修カリキュラムを通して伝えられることがある」と感じた。

この合宿では「学び、活かしたい」という強い気持ちを持つ各太鼓団体のリーダーや中心的人物たちに鼓童側から声をかけた。研修所の2年間で1週間に凝縮したプログラムに仕立て、食事当番も自分たちで担い、ゲストではなく自分たちで生活することを軸とした。講師への気遣いを通じて、教えるを乞う姿勢や心構えを、掃除や生活の動作の中で、「最初と最後」を意識したあらゆる気づきを学ぶ。また、自主稽古では振り返りと自由に使える時間を持ち、何かを形にするよりも学び続けることを目標とした。

「学び・気づき」は種だ。「既に咲いた花を渡すのではなく、種を持ち帰ってもらおう」と内田は言う。参加者が受け取る種は、何の種かはわからない。どう育てるか、その人たち次第だ。もし花が咲けば、種が生まれ、その土地でまた花開いていくだろう。それが、太鼓の可能性を広げるということではないだろうか。

大学太鼓サークル合宿

大学のサークルは部員同士の太鼓に対する情熱や経験にばらつきがあり、集団としてのモチベーションを保つのが難しい。第3回目となる「大学太鼓フェスティバル」実行委員長の音間大誠さんと鼓童文化財団の太鼓体験講師の米谷友宏はそんな状態を変えたい、大学太鼓の意識やレベルの底上げをしたいと考えた。プロの世界を見ることで、目標が見つかる、太鼓への向き合い方が変わるのでは、と太鼓サークルの代表者を集めた2泊3日の合宿は行われた。

初日は太鼓の楽しさを再発見できるワークショップを、夕方からはバチを角材から削って製作した。2日目は午前中が阿部好江の歌の稽古。発声、掛け声、腹から音を出す方法を学び、富山県の民謡「帆柱起こし音頭」を全員で歌った。午後は見留知弘からタオルやうちわを使用することによって力まない、正しい打ち方のフォームを学んだ。また、視覚的な美につながる、舞台の出(登場)からハケ(退場)までの立ち居振る舞いや所作、太鼓や台の運び方を体験した。

研修所とほぼ同じ生活を体験した大学生からは「舞台以外が舞台に直接することをプロの方から直接聞けた」「サボることもできる中、時間をどう使うか、自分とどう向き合うかが大事だと思った」という声や、学びをサークルに持ち帰り、活かしていきたいという声が返ってきた。「2020年に向けて日本人が日本の伝統文化を自分の思いや自分の言葉で伝えられたらいいな」と言う学生もいた。中には、太鼓のプロを目指したくなったという声も。参加者の視野が広がり、太鼓をもっと好きになる人や極めたい人が増えていく未来の見える合宿となった。



鼓童公演・特別出演

巡 -MEGURU-

11/13(火)岡山県倉敷市

倉敷市芸文館 18:30開演
全席6,000円
☎ 鼓童チケットサービス Tel. 0259-86-2330

11/15(木)鳥取県鳥取市

鳥取市民会館 大ホール 18:30開演
全席5,000円
☎ 道の駅清流茶屋かわはら Tel. 0858-85-5331

11/17(土)山口県岩国市

シンフォニア岩国 コンサートホール 17:30開演
全席5,500円
☎ TSS事業部 Tel. 082-253-1010

11/21(水)-22(木)大阪府大阪市

森ノ宮ピロティホール
21日 18:30開演、22日 14:00開演
全席6,500円
☎ キョードーインフォメーション Tel. 0570-200-888

11/23(金・祝)-24(土)滋賀県大津市

滋賀県立芸術劇場 びわ湖ホール 中ホール
23日 16:30開演、24日 13:00開演
全席6,000円
☎ キョードーインフォメーション Tel. 0570-200-888

11/27(火)愛知県刈谷市

刈谷市総合文化センター 大ホール
18:30開演 S席5,500円、A席5,000円
☎ 中京テレビ事業 Tel. 052-588-4477

11/28(水)岐阜県多治見市

多治見市文化会館(パラー文化ホール)
18:30開演 S席5,500円、A席5,000円
☎ 多治見市文化会館 Tel. 0572-23-2600

11/30(金)新潟県新潟市

新潟県民会館 大ホール
18:30開演 S席6,000円、A席5,000円
☎ TeNYチケット専用ダイヤル Tel. 025-281-8000

12/1(土)長野県長野市

長野市芸術館 メインホール 16:30開演
S席5,500円、A席5,000円
☎ サンライズプロモーション北陸 Tel. 025-246-3939

12/7(金)千葉県船橋市

船橋市民文化ホール 18:30開演
全席指定 5,500円
☎ 音楽工房キャプス Tel.043-224-1710

12/8(土)神奈川県茅ヶ崎市

茅ヶ崎市民文化会館 大ホール 18:00開演
全席5,700円、学生券3,000円
☎ tvkチケットカウンター Tel. 0570-003-117

12/9(日)埼玉県熊谷市

熊谷文化創造館 さくらめいと 18:00開演
一般5,000円、U-25 2,000円
☎ さくらめいとチケットセンター Tel. 048-532-9090

12/11(火)神奈川県横浜市

神奈川県民ホール 大ホール 13:00開演
S席6,000円、A席4,000円、学生券3,000円
☎ tvkチケットカウンター Tel. 0570-003-117

12/13(木)埼玉県富士見市

富士見市民文化会館 キラリ☆ふじみ
18:30開演 一般5,000円、学生券3,000円
☎ 富士見市役所 地域文化振興課 Tel. 049-251-2711

12/15(土)東京都調布市

調布市グリーンホール 大ホール 18:00開演
一般6,000円、U-22 3,000円
☎ 公益財団法人調布市文化・コミュニティ振興財団 Tel. 042-481-7222

12/16(日)東京都福生市

福生市民会館 大ホール(もくせいホール)
16:30開演
一般 6,000円、U22(22歳以下)3,000円
☎ 福生市民会館 Tel. 042-552-1711

12/19(水)-23(日・祝)東京都文京区

文京シビックホール大ホール
19日 19:00開演、20日-23日 14:00開演
S席7,000円、A席 5,000円
☎ チケットスペース Tel. 03-3234-9999

たいこわらべ50年

藤本吉利太鼓歴50周年記念公演

12/24(月・振休)東京都文京区

文京シビックホール大ホール
14:00開演 全席5,000円
出演:藤本吉利、藤本容子、鼓童
特別ゲスト:岩崎鬼剣舞(岩手県北上市)
和知太鼓保存会(京都府京丹波町)
☎ チケットスペース Tel. 03-3234-9999

第十六回神恩感謝 日本太鼓祭り

11/10(土)-11(日)三重県伊勢市

おかげ横丁 10:00開演 料金無料
☎ おかげ横丁 Tel. 0596-23-8838

万代太鼓創設50周年記念第66回新潟市芸能まつり 第43回万代太鼓フェスティバル

11/23(金・祝)新潟県新潟市

りゅーとびあ新潟市民芸術文化会館
コンサートホール 13:30開演 全席自由
一般 1,000円、高校生以下500円、乳幼児無料
☎ 新潟万代太鼓振興会 事務局 神龍会 東 Tel. 025-270-9329

「鼓童ワン・アース・ツアー 2019 ~Evolution」北米ツアー

1/31(木)ネバダ州、ラスベガス

The Smith Center for the Performing Arts
19:30開演

2/2(土)-3(日)カリフォルニア州、パークレー

Zellerbach Auditorium
2日 20:00開演、3日 15:00開演

2/5(火)オレゴン州 ポートランド

Arlene Schnitzer Concert Hall 19:30開演

2/7(木)アリゾナ州 メサ

Mesa Arts Center Ikeda Theater 19:30開演

2/9(土)カリフォルニア州 サンタバーバラ

Granada Theatre 19:00開演

2/10(日)カリフォルニア州 コスタメサ

Renee and Henry Segerstrom Concert Hall
19:00開演

2/12(火)カリフォルニア州 ロサンゼルス

Walt Disney Concert Hall 20:00開演

2/16(土)コロラド州 ボルダー

Macky Auditorium 19:30開演

2/17(日)コロラド州 フォートコリンズ

Lincoln Center Fort Collins 19:30開演

2/19(火)カンザス州 ローレンス

Lied Center of Kansas 19:30開演

2/22(金)ミネソタ州 ロチェスター

Mayo Civic Center - Presentation Hall
19:30開演

2/23(土)ウィスコンシン州 オークレア

Pablo Center at the Confluence 19:30開演

2/26(火)ミシガン州 ミッドランド

Midland Center for the Arts 19:00開演

2/28(木)イリノイ州 シカゴ

Symphony Center Chicago 19:30開演

3/1(金)インディアナ州 カラメル

■ The Palladium ■ 20:00開演

3/2(土)イリノイ州 アーバナ

■ Krannert Center's Tryon Festival Theatre
■ 20:00開演

3/4(月)ニューハンプシャー州 ハノーバー

■ Spaulding Auditorium ■ 19:00開演

3/6(水)マサチューセッツ州 アムハースト

■ University of Massachusetts Amherst Fine Arts Center
■ 19:30開演

3/8(金)-9(土)コネチカット州 フェアフィールド

■ Quick Center at Fairfield University
■ 8日 20:00開演、9日 14:00開演

3/12(火)ペンシルバニア州、フィラデルフィア

■ Kimmel Center for the Arts Verizon Hall
■ 19:30開演

3/13(水)ペンシルバニア州 イーストン

■ Williams Center for the Arts at Lafayette College
■ 20:00開演

3/14(木)ニュージャージー州 モリスタウン

■ Mayo Center for the Performing Arts
■ 19:30開演

3/16(土)バージニア州 フェアファックス

■ George Mason University Center for the Arts
■ 20:00開演

3/18(月)バーモント州、バーリントン

■ Flynn Center for the Performing Arts
■ 19:00開演

3/21(木)カナダ、オンタリオ州 トロント

■ Sony Center for the Performing Arts
■ 20:00開演

3/23(土)カナダ、ケベック州 モントリオール

■ Place des Arts ■ 20:00開演

3/25(月)カナダ、オンタリオ州 オタワ

■ National Arts Centre ■ 20:00開演

協賛



助成



ソロ活動・ワークショップ

藤本吉利ソロ活動

11/17(土)-18(日)京都市京丹波町

藤本吉利ワークショップ 2018

■ 和知太鼓練習場

■ 大太鼓編 17日 14:00-17:00

和知太鼓編 18日 10:00-13:00

鬼剣舞編 18日 14:00-17:00

■ 6,000円/回 定員 大太鼓20名、和知太鼓20名、鬼剣舞15名

■ 和知太鼓保存会 出野文雄
Tel. 090-8575-9835

11/24(土)-25(日)東京都目黒区

全身全霊・ワークショップ

■ 太鼓の里響和館

■ 大太鼓編 24日 15:30-17:30

鬼剣舞編 25日 11:00-13:00

和知太鼓編 25日 14:30-16:30

■ 7,700円/回 定員 各回12名

■ 和知太鼓の里 響和館 Tel. 03-3714-2774

11/26(月)石川県白山市

~全身全霊大太鼓~大太鼓の極意を学ぼう!

■ 新響館2F

■ 19:00~20:30

■ 4,000円

■ 一般財団法人浅野太鼓文化研究所
Tel. 076-277-1721

小島千絵子ソロ活動

11/23(金・祝)兵庫県篠山市

「ゆき逢ひ」~篠山城に舞、響く~

■ 篠山城 大書院

■ 18:30開演

■ 3,000円(当日500円増)

■ 小島千絵子(舞、和太鼓)、TAH(和太鼓)、
木村俊介(篠笛、三味線)

■ ゲスト出演:デカンショ節保存会

■ 丹波篠山太鼓 鼓篠組 泉水
Tel. 090-1076-1501

11/24(土)-25(日)兵庫県篠山市

「花八丈」合宿ワークショップ

in 日本遺産のまち丹波篠山

■ 兵庫県篠山市 大芋小学校

■ 24日 13:00~ 25日 ~16:00

■ 23,000円(懇親会、宿泊、食事、保険料含む)
※日帰りも可

■ 定員 20名

■ 同時開催:「千絵子さんと踊る 日本遺産 デカ
ンショ節」夜・ワークショップ終了後

■ 参加費3,500円 ※ワークショップ参加者は無料
■ 丹波篠山太鼓 鼓篠組 泉水
Tel. 090-1076-1501

小島千絵子プロデュース

「佐渡が姉妹」お披露目ツアー

■ 小島千絵子、菅野夏子(ドラム)他

12/8(土)栃木県足利市

■ 足利市民会館 別館ホール

■ ゲスト:遠峰あこ(アコーディオン唄者)、TAH
(和太鼓)

■ 市民文化友の会 Tel. 0284-41-2121

12/9(日)群馬県榛東村

■ 多目的スタジオ月兔園 ■ 16:00開演

■ 3,000円 ■ ゲスト:TAHほか

■ 岡村屋本舗 Tel. 050-3551-8107

12/23(日)東京都品川区

■ 中延ボナベティ ■ 18:30開演

■ 3,800円(1ドリンク付き)(当日200円増し)

■ ゲスト:遠峰あこ、TAH

■ 中延ボナベティ Tel. 03-3787-3634

山口幹文ソロ活動

風の彩 二管の綾 其の十

■ 出演:山口幹文(真笛、篠笛)、森美和子(篠笛)

■ 一般3,000円、学生2,500円(当日500円増)

■ 全席自由

■ ユクリ Tel. 070-6540-0850

11/23(金・祝)大阪府池田市

■ ナムのひろば文化会館 ホール ■ 14:00開演

11/24(土)京都府京都市

■ 戒光寺 ■ 16:00開演

11/25(日)愛知県名古屋

■ 想念寺 ■ 15:00開演

宮崎正美「エクサドン体験、講座」

■ 参加費:体験4,000円、講座5,000円

■ 定員:20名(11/25のみ8名)

■ 佐渡太鼓体験交流館(たごう館)
Tel. 0259-86-2320

【エクサドン体験】

11/24(土)埼玉県さいたま市

■ 和太鼓スタジオ すわんど ■ 10:00-12:00

11/25(日)東京都目黒区

■ 太鼓の里響和館 Bスタジオ ■ 10:30-12:30

【エクサドン講座】

11/24(土)埼玉県さいたま市

■ 和太鼓スタジオ すわんど

■ 14:00-16:00 ※対象:「エクサドン体験」経験者

**鼓童文化財団企画 セミナー&ミニワークショップ
太鼓の力を組織の力に**

12/23(日)東京都文京区

■ 文京シビックセンター ■ 16:30~18:30

■ 1,000円 ■ 定員:50名

(詳細は11ページをご覧ください)

読者の皆様のコーナー

鼓童と読者の皆様の交流コーナー。今回のお題は齊藤栄一からの「佐渡でやってみたいこと」です。

佐渡だからこそその自然、かつてあった日常の暮らしが今も息づいている風景などを感じてみたいというご意見が多かった今回。ぜひ四季それぞれの佐渡の魅力を味わいにお越しください。

今月のお題

佐渡でやってみたいこと

秋の佐渡をレンタル自転車で走り回りながら、野生のトキを見つける旅をしてみたいです。そして、旅の締めくくりには「たたこ館」で太鼓を思いっきり叩きたいです。
(草加市、ワッキーマさん、女性)



夏から冬の晴れた、雲のない夜。ECコンサートがあった小木・城山公園の広場の真ん中に寝っころがる!!
(新潟市、しばしばさん、女性)



「観光名所でないところの佐渡暮らし」鼓童の演奏を聴くために何度か佐渡を訪れましたがいつも感じるのは、佐渡の人の温かさ、です。優しい表情とゆったりした語りぶりにほっとさせられます。そういう人々の中でしばらく暮らしてみたい…。えご草を煮る店やイカを干す小さな魚屋さんなどのある日常に浸ってみたいなあ。高齢者の体操教室もあるかな。(横浜市、西浦むむママさん、女性)



読者の方から齊藤栄一への逆質問もいただきました!

Q. 栄一さんのピアノ演奏、「月光」を聴きました。ステキ! スチールパン演奏も素晴らしかった! いくつかの楽器をこなせるのですか? 新しい楽器に触れることで得るものはどんなこと? 次に触れたい音は何でしょう?(この前、石笛を聴きました。海辺で拾った小さな穴のあいた石…。それが楽器に…夢がありそうです)
(横浜市、西浦むむママさん、女性)

A. ピアノ演奏! それは富田和明さんとの『トーク齊富』での1シーン。あれは「ラベルのピアノ協奏曲」の2楽章の最初の3分で、あれしか弾けません。スチールパンも「南風」しか演奏出来ません。ハッキリ云ってメロディー楽器は苦手です。ただ笛はちゃんと稽古しておけば良かったなあと反省しております…あつ、指笛は結構得意です!(齊藤栄一)



●次号、秋号(11月)のお題は?

投稿お待ちしております!

見留知弘より「鼓童と〇〇、見てみたい共演は?」

様々なジャンルのアーティストとの共演経験を持つ見留からのお題。「これは絶対見たい!」「あのアーティストと共演して欲しい!」「まさかこんなコラボが実現するとは?」。皆さんが「鼓童と共演? これは見てみたい!」と思われる共演者についてジャンル・国内外問わずどしどしお寄せください。ECなどでいつの日か実現するかも!?

「お名前(もしくはペンネーム)」「鼓童の会会員番号」「住所」「性別」「年代」「お答え」を明記の上、メール、ファクス、もしくはお葉書にて[12月25日(火)]までにお寄せください。お答えいただいた方に抽選で3名様に「見留知弘サイン入り鼓童グッズ」をプレゼントいたします。なお、お題に対する答えだけでなく見留知弘に聞きたいことなど、なんでも結構です。

■ Email: friends@kodo.or.jp ■ Fax: 0259-86-3631

タイトルを「鼓童機関誌読者コーナー投稿」と明記の上、お送りください。

■ お葉書 〒952-0611 佐渡市小木金田新田148-1 鼓童村

「鼓童機関誌読者コーナー」係までお送りください。





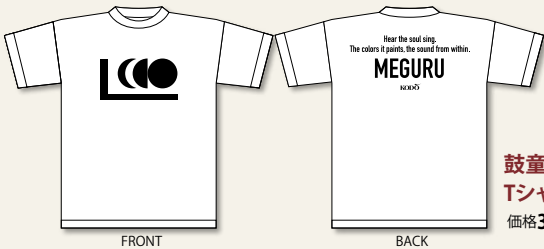
鼓童オンラインストアからのお知らせ



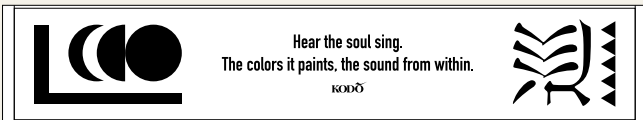
この秋も
新商品が続々登場!

鼓童カレンダー2019
全ページカラー… 価格1,500円(税込)

「巡-MEGURU-」公演オリジナルグッズ



鼓童ツアー
Tシャツ(巡)
価格3,000円(税込)



鼓童タオル(巡) 価格1,300円(税込)



フォトブック(巡) イメージです
フルカラー40P 価格800円(税込)



鼓童カレンダー2019と
フォトブック(巡)の
セット商品
価格2,000円(税込)

どちらの商品も公演会場にて販売いたしております。
オンラインストアでも若干数をご用意しておりますので、お早めにお
買い求めください。

■鼓童グッズのお問い合わせはこちらまで
Tel. 0259-86-3630 (販売部) <http://store.kodo.or.jp>

鼓童文化財団企画 セミナー&ミニワークショップ 「太鼓の力を組織の力に」

太鼓が組織の活性化やチームビルディングなど、企業の幹部
研修や次世代リーダー研修にどう効用があるのか。今までの
実績をご紹介するとともに、研修内容をぐっと圧縮したミニ
ワークショップを通して、その可能性を五感でご体感ください。
※今回、太鼓をたたくワークショップはございません。

- 日時/2018年12月23日(日) 16:30~18:30
- 会場/文京シビックセンター26階スカイホール
- 会場利用協力費/1,000円(当日収受いたします)
- 定員/約50名様
- お申込み/鼓童文化財団 zaidan@kodo.or.jp Fax. 0259-67-7330

たたこ館まつり開催!

「あったかほっこりわっくわく」のたたこ館まつりを
今年も開催します!

芸能ステージや太鼓
体験、ものづくり体験、
佐渡の特産品の販売
など、ご家族やお友達
とお楽しみいただける
企画が盛りだくさん!
皆さまのお越しをお待
ちしています。



- 日時/12月9日(日) 11:00~15:00
- 会場/佐渡太鼓体験交流館(たたこ館) (新潟県佐渡市)
- 入場料/大人(中学生以上)500円、小学生以下無料
- 問/佐渡太鼓体験交流館 Tel. 0259-86-2320
Email: info@sadotaiken.jp <http://www.sadotaiken.jp>

鼓童の会より会員の皆様へ

2019年浅草公演先行予約について

恒例となりました浅草での公演を来年も行うことが決まりました。
鼓童の会の皆様へは12月上旬にクロネコヤマトのDM便
にて先行予約受付のご案内をお送りいたします。

先行予約日程:12月7日(金)~12月10日(月)

会員証リニューアル進捗について

前号に同封のお手紙で、会員証をリニューアルし、会員番号を
チケット予約サイトの「会員ID」に切換えさせていただくことをお
知らせしました。12月にご継続手続きをいただいた方から、順次
新しい会員証をお届けできるよう、準備を進めております。

たたこ館のれん進行中!

「たたこ館のれん」
リニューアル企画、進
行中! 完成には、まだ
まだかなり時間がか
かりそう…ですが、メ
ンバーやスタッフ有
志で刺し子作業を進
めております!



年末・年始の休みについて

鼓童事務局は12月26日(水)~1月9日(水)の期間、佐渡太鼓体験
交流館(たたこ館)は12月22日(土)から1月10日(木)までお休み
させていただきます。メール、SNSなどのご返事も休止させていた
だきますので、どうぞご了承ください。

藤本吉利があって今の鼓童がある

たいこわらべ50年～

藤本吉利太鼓歴50周年記念公演

鼓童の創設メンバーでもあり、最年長プレイヤーでもある藤本吉利が太鼓に出会ってから50年となります。いまなお 現役で活動し、鼓童の精神的支柱でもある藤本は、和太鼓への飽くなき思いとその人柄で、多くの方々から目標とされ、愛され続けております。今回は、「藤本吉利があって今の鼓童がある」という思いを込め、鼓童一丸となってこの節目を寿ぎ、まだまだ続く「生涯現役」の旅を共にしていく記念の会にしたいと思っております。唄って、踊って、太鼓をたたく。皆さまと、この時間を一緒にできればこの上ない喜びです。



◇日時:12/24(月・祝)14:00開演

◇会場:文京シビックホール大ホール(東京都文京区)

◇出演:藤本吉利、藤本容子、鼓童

特別ゲスト:岩崎鬼剣舞(岩手県北上市)和知太鼓保存会(京都府京丹波町)

鼓童出演者:藤本吉利、藤本容子、齊藤栄一、見留知弘、船橋裕一郎、石塚充、中込健太、草洋介、小松崎正吾、養輪真弥、住吉佑太、池永レオ遼太郎、大塚勇渡、北林玲央、米山水木、前田順康、吉田航大、木村佑太、平田裕貴、山脇千栄

◇演目:一人加護、一番庭(岩崎鬼剣舞)、和知太鼓、花の寿、モノクローム、大太鼓、ほか

◇料金:5,000円(全席指定)

◇お問い合わせ:チケットスペース Tel. 03-3234-9999

記念本 出版決定!

太鼓人生50年を記念して、吉利自らが、思いを込めて筆を執りました。コンサートと合わせてお楽しみください。

- 記念本タイトル:「藤本吉利 たいこわらべ五〇年」
- 内容:「大太鼓」「言葉」「(鼎談)たいこわらべ50年を語る」「楽譜・吉利作曲(雷神なるかみ)他」、坂東玉三郎氏をはじめとした寄稿文など。写真多数。
- 予約受付日:11/15(木)～12/18(火) ● 一般発売日:12/19(水)
※12/19以降はツアー会場及びオンラインストアで販売いたします。
- 価格:2,160円(税込) ● 申込:鼓童オンラインストアTel. 0259-86-3630
Email: store@kodo.or.jp(詳細はお問い合わせ時にお伝えいたします)
- ★ご予約いただいた皆様には、吉利直筆のサインをさせていただきます。

アース・セレブレーション2018 ご来場誠にありがとうございました!



来年のECIは2019年8月16日(金)～18日(日)開催。また真夏の佐渡でお会いしましょう!

写真:宮川舞子

最新情報は、[ウェブサイト](#) [facebook](#) [Twitter](#) [メルマガ](#) をご覧ください。

[f @KodoHeartbeatJp](#) [t @KodoHeartbeat](#) [i @kodoheartbeat](#)

鼓童 検索 <http://www.kodo.or.jp>

その他、鼓童へのお問い合わせはこちらへ
Tel. 0259-86-3630(代)(月～金 9:30～17:00)
Fax. 0259-86-3631

次号は2019年2月10日の発行を予定しています。

KODO vol. 372

鼓童 2018年11月10日発行(年4回 2月/5月/8月/11月) ©発行/鼓童 〒952-0611新潟県佐渡市小木金田新田148-1
Tel. 0259-86-3630 Fax. 0259-86-3631 Email: heartbeat@kodo.or.jp http://www.kodo.or.jp
©発行責任者/菅野敦司 ©企画・構成/(公財)鼓童文化財団 ©デザイン・編集・印刷/(株)第一印刷所
©郵便振替/00680-2-13115 鼓童の会 年間購読料3,000円(送料/購読料は会費に含まれます)